

ほけんだより 9月

平成29年9月22日 指宿高等学校保健室発行

夜に響く鈴虫のきれいな音色。でも、鈴虫の声は電話を通しては聞こえないそうです。人間の声より高い音は、受話器では拾えないからだそうです。機械を通しての体験は、生身での体験には適わないのですね。大きな学校行事の一つ 体育祭も終わりました。今しか体験できないこと。味わえていますか。見つけてみませんか。

●●結核予防週間（9/24～9/30）●●

今年度の標語：『それって、いつもの風邪ですか？』

明治時代から昭和20年代までの長い間、「国民病」「亡国病」と恐れられた結核。

50年前までは、年間死亡者数も10数万人に及び、死亡原因の第1位でした。医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気とっていたら大間違いです。今でも1日に50人の新しい患者が発生し、5人が命を落としている日本の重大な感染症なのです。

結核の初期症状は、痰や咳、微熱、寝汗など、普通のかぜと見分けが付きません。これらの症状が2週間異常続いたり、特に倦怠感が続いたり、急にやせ衰えたりしてきたら、結核が疑われます。早めの受診が必要です。

○ 結核に感染しても、すぐに発症するわけではありません

結核に感染しても、健康で体力があれば、通常は免疫機能が働いて結核菌の増殖が抑えられます。

○ 発病しても、医師の指示通り毎日薬を飲めば治ります

治療の基本は服薬です。ところが咳が治まったからといって治療の途中で薬をやめてしまうと、菌は薬への耐性を増し、時に薬の効かない多剤耐性菌になることがあります。必ず、医師の指示を守って服薬を続けてください。

○ 定期健診、早めの受診が社会のマナーです

自分自身の健康を守ることはもちろんのこと、家族や友人などへの感染を防ぐためにも、早期発見・早期治療が重要です。定期的に健診をきちんと受け、カゼかなと思う次のような症状が長く続くようなら、必ず診療を受けてください。

- 咳(せき)が2週間以上続く
- 痰(たん)がでる(痰に血が混ざる)

- 体がだるい
- 微熱が続く



「結核予防会ホームページより抜粋」



- 夏休み中に疾病治療が終わった人は、治療報告書を保健室へ提出してください。
- 学校内または登下校中のけがで、病院で治療を受けた人は、災害報告手続きを行いますので、保健室へ早めに連絡してください。
(何ヶ月も過ぎてからでは手続きできません)

= 毎日野菜をプラス一皿に 挑戦しよう =

私たちのカラダは食べたものでつくられ、食べたもので元気に活動しています

たんぱく質

カラダの組織を作る

筋肉、骨、内臓、血液、髪、皮フなどの、カラダの材料になります。またホルモンや酵素、免疫細胞にもなります。

ミネラル

カラダの調子を整える

カラダの調子を整えたり、骨や歯の成分になります。

糖質 (炭水化物)

エネルギー源になる

カラダや脳を動かすエネルギーになります。

ビタミン

カラダの調子を整える

代謝をよくし、カラダの働きを整えます。また、血管や粘膜、皮ふ、骨などの健康を保ちます。

ちょっと未来も健康で過ごすために、毎日野菜をプラス一皿

野菜を食べるとこんなにいいこと

- かむ回数が増える
- 満足感を感じて、食べすぎを防ぐ
- むし歯や歯周病を防ぐ
- 便秘を防ぐ
- 肌や髪にうるおいをあたえる
- 血圧や血糖値を整えて、成人病を予防する

どの栄養もバランスよく食べることが大切なのですが、今とくに不足がちだといわれるのが、**ビタミン・ミネラル**をたくさん含む野菜です。

夏バテのぐったりを引きずっている

夏休みは元気に過ごせたのに、秋になってからぐったり

そんなぐったりさんへ

そのぐったりの原因は？

- ◆ 夏の疲れが残っている
- ◆ 夏と同じ生活をして体を冷やしてしまっている
- ◆ 冷房で体温を調節する力が弱まっている

ぐったりをやっつけるために！

- ★ お風呂ではぬるめのお湯にゆっくりつかる
- ★ 寒暖の差が大きいと体に負担が。冷房の使い方や服装を見直そう
- ★ 睡眠をしっかりとうろう
- ★ 温かいものを食べて体を内側から温めよう
- ★ 「スポーツの秋」のやりすぎに注意